

新潟大学における歴史的実験機器の保存状況と活用

新潟大工¹⁾, 人文²⁾, 自³⁾ 原田修治¹⁾, 鈴木光太郎²⁾, 大矢誠¹⁾, 石川文洋³⁾

The Historical Experimental Apparatus in Niigata University
Niigata Univ. S. Harada, K. Suzuki, M. Ohya and F. Ishikawa

はじめに

新潟大学の学部は9学部（人文，教育，法，経済，理，医，歯，工，農）で構成されている。昭和24年の新制大学発足の母体となった旧制学校は，新潟第一師範学校，新潟青年師範学校，新潟第二師範学校，新潟高等学校，新潟医科大学，長岡工業専門学校，県立農林専門学校である。新潟大学に現存する歴史的な実験機器は，旧制新潟高等学校（大正8年，1919年4月設立）のもの約138点と長岡工業専門学校の前身である長岡高等工業学校（大正12年，1923年12月設立）のもの約187点である。なお，旧制新潟高等学校の物理機器を管理していた教養部は昭和45年（1970年）に新潟市西大畑より五十嵐に移転した。また，工学部は昭和54年（1979年）に長岡市から五十嵐キャンパスに統合移転された。

現有する歴史的実験機器は大きく4つに区分している。①「旧制新潟高等学校の心理関係の資料 約38点」人文学部行動科学講座管理，②「旧制新潟高等学校の物理関係の資料 約100点」旧教養部物理教室管理，③「旧制長岡高等工業学校の物理関係の資料 約170点」工学部旧共通講座管理，④「同高等工業学校の機械要素部品関係の資料約17点」工学部機械システム工学科管理である。なお，旧教養部ならびに工学部旧共通講座は改組に伴い平成6年（1994年）から新学科などに変わった。共通講座は，長岡高等工業学校の設立時に電気工学科・機械工学科・応用化学科とならび「基礎学の重視の教育方針」のもとで新設されたが，その歴史を終えた。

資料の整理状況と活用状況

(1) 現有の資料を整理し，ホームページ(*)で公開した。物理の実験機器の分類は，昭和25年発行の教科書「物理学」佐藤瑞穂著，培風館によった。この図書は新制大学の一般教養科物理学の教材として編纂され，実験機器の記載に関しても充実していた。なお，この整備には「平成11年（1999年）度新潟大学教育改革・改善プロジェクト事業」の支援を受けた。

(*) ホームページ <http://museum-eng.eng.niigata-u.ac.jp/>

(2) 新潟大学旭町学術資料展示館（通称：あさひまち展示館）に資料の一部を展示した。この展示館は大学所蔵の貴重学術資料を広く学内外に公開することを目的に 2001 年 12 月に設置された。展示館建物は、旭町キャンパスにあり、1929 年建築当初から旧制新潟師範学校の児童博物館等として利用され、新潟市域に現存する昭和初期の鉄筋コンクリート造の建物としては最古級の建物であり、2005 年国の登録有形文化財に認定された。

(3) 展示館の企画事業の一つである「連続セミナー」や「体験学習」を主に担当してきた。これらの記録もホームページに集計している。特に、2009 年 11 月には日本物理学史資料委員会委員の永平幸雄教授による招待講演「新潟大学所蔵の歴史的実験機器の価値と魅力」が実現した。講演では本学の歴史的実験機器の「質」についての概要に加え、教育プログラムに活用している事例紹介などをお話しいただいた。

(4) 旧制長岡高等工業学校の物理関係の資料として「物品監守簿（大正 14 年 6 月）」が現存しており、この資料を Excel ファイルとした。なお、物品監守簿の重要性については永平教授に教えていただいた。

新潟大学の歴史的物理実験機器の特徴

旧制新潟高等学校と旧制長岡高等工業学校の資料の特徴は、「旧制の両学校の間で類似・共通する物品が極めて少ない」という点にある。このことは、理学部の前身である旧制新潟高等学校の物理教育の理念と工学部の前身である旧制長岡高等工業学校の教育理念に差異があったためと想定されることから、本学の特徴と考えている。

まとめにかえて

ホームページの整備がきっかけとなり、教科書等への掲載を目的とした資料請求や歴史的実験機器を整理・保存し活用する情報交換のネットワークが出来つつある。実験機器の役立つことが関係者の活動の大きなエネルギー源となっている。歴史的実験器機は移転や改組のたびに大きく散逸する。しかしながら、当時の職人技が見て取れる「美しく心打たれる」機器は大きな感動をもたらしてくれ、シンプルな構造は新しい発想を与えてくれる。歴史的実験機器の保管にはこうした関係者の熱意と関係学部の協力が欠かせない。これらの機器の活かし方が大学の伝統とステータスの証しとなりつつあり、情報交換が益々重要になると思われる。

謝辞：既に退官された本間興二助教授（旧教養部）は旧制新潟高等学校の物理関係の資料の保存と整理に尽力された。300 点に及ぶ資料の写真撮影は岩崎政行技官（旧共通講座）による。また、物品監守簿のデータ化も岩崎氏に負うところが大きい。両氏に深く謝意を表す。